

【障害原因判別のためのデータ・ファイルの採取方法】

iSeries からプリンターに送られてくるスプール・データを PC(Windows 端末)上にてデータ・ファイルとして変換し、ディスクに落とす、もしくは PC 上に保存するための方法をガイドいたします。

HPT を使った印刷のデータを取得する方法 (Windows NT4.0 以降より対応)

iSeries 上から HPT 印刷で送信したデータを PC 端末上に送り、そこでデータ・ファイルを作成します。なお、データ・ファイルを作成する為には 4 つの作業が必要となります。

- 1.PC 上に UNIX 印刷サービスをインストール (Windows2000 / XP 使用時)**
- 2.PC 上で TCP/IP Print Server をスタート**
- 3.プリンター・ドライバーの設定変更**
- 4.OUTQ の設定**

1).PC 上に UNIX 印刷サービスをインストール

1. 「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開きます
2. 「Windows コンポーネントの追加と削除」を選択します
3. 「Windows コンポーネント ウィザード」内で、「そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス」をクリックして「詳細」をクリックします
4. 「UNIX 用印刷サービスの追加」を選択してから「OK」をクリックします
5. 「次へ」をクリックしてから、「完了」をクリックします

(注：インストールを完了するために Windows CD を求められることがあります)

2).PC 上で TCP/IP Print Server をスタート

1. 「コントロールパネル」から「管理ツール」を開きます
2. 「サービス」を開き、「TCP/IP Print Server」を選択します
3. 選択後、右クリックし表示されるメニューから「開始」を選択します

3).プリンター・ドライバー設定変更

1. HPT で指定するキュー名が、Windows 上のプリンター名となりますので、プリンター名を適切に設定する必要があります
2. プリンター名を、空白を含まない 8 文字以内の文字に設定します (例：LPD など)
3. 次に、プリンター・ドライバーのプロパティから「印刷するポート」を「FILE: ファイル」に変更します

4).OUTQ の設定

- 1.通常どおり、リモート OUTQ の設定を行いません
- 2.送り先の IP アドレスは PC 上に割り振られている IP アドレスを設定します
(PC 上の IP アドレスが不明な場合は DOS プロンプトから「IPCONFIG」で調査します)
- 3.キュー名は **3)** で設定したプリンター・ドライバー名を指定します
- 4.上記の設定後、通常の OUTQ 経由で印刷を行うと、「出力先ファイル名」を聞いてきますので何か適当なファイル名をつけて、保存先のディレクトリを設定します
- 5.PC を経由してデータ・ファイルが作成されます

PCOMM 経由・WINDOWS アプリケーションからの印刷データを採取する方法

PCOMM 経由または、WINDOWS アプリケーション上で送信するデータを下記の方法をご利用頂く事により、データ・ファイルとして取得することが可能となります。

- 1).**WINDOWS 上より、「スタート」-「設定」-「プリンタ」を開き、ご利用頂くプリンターのプロパティを開きます
- 2).**次に、プリンター・ドライバーのプロパティから「印刷するポート」を「FILE：ファイル」に変更します
- 3).**ご利用頂いている環境(PCOMM、WINDOWS アプリケーション)から通常とおりに印刷を行います
- 4).**「出力先ファイル名」を聞いてきますので何か適当なファイル名をつけて、保存先のディレクトリを設定します
- 5).4).**で設定したディレクトリにファイルが保存されます

上記で作成されたデータ・ファイルを基に現象の解析を行うことが可能となります。